

## 足立区基本計画審議会 第2回全体会での主な意見

## 1 各分科会での討議内容に関する追加意見

## 子ども・若者に関する意見

- 若者の活力に目がいきがちだが、若者の「生活の安心」や「就業の安心」にも目を向けていく必要がある。  
＜渡部 委員＞
- 小中学生の不登校、若者の孤独・孤立が増えている。孤独・孤立対策については基本計画の中で重点的に取り組んでいく必要がある。＜岡安 委員＞
- 少ない子育て世代に重点的に資源が投入されることで、それ以外の人たちが子育て世代に搾取されていると感じてしまう。そうすると心理的に暮らしづらい状況が発生してしまうため、バランスをとった運営をしてほしい。  
＜小柳 委員＞
- これから国を支えていく子どもたちを育てているため、肩身が狭い思いをする必要はない。公を充実させることで、すべての人にリターンがある。＜片野 委員＞

## 横断的な意見・その他

- 人口減少は避けられないことを念頭に置いて、区の未来を考えていく。サービスは追加するだけでなく、廃止するなど整理していく。人口が減少するということは、お金も減ることであるため、発想を変えていく必要がある。＜秋山 委員＞
- サービスをやめていくことも必要だが、今良いものは工夫して残していくことも必要。＜笠井 委員＞
- IT化の流れが来ているため、行政はさらに活用していく必要がある。＜笠井 委員＞
- みんなが活動する場の充実と、活動を支援する費用の話は併せて議論をしていく必要がある。  
＜片野 委員＞
- 公共施設には複合的な要因が大きく関係しているため、区民ニーズを捉えたうえで、公共施設の長寿命化や複合化、スマートシティについて検討していく必要がある。＜渡辺 委員＞

## 2 「これまでの足立区の実践に加え、次期計画で高めていくテーマ（案）」に関する意見

## 「やりたいことができる」「つながり」などに関する意見

- 地域で何かに関わり、足立区に「ふるさと意識」「思い出」を感じている方は、定住している傾向があると感じる。＜野沢 委員＞
- 転入してきた立場だが、なぜ足立区に定住したかという「やりたいことがたくさんできたから」と考えている。＜片野 委員＞
- 子どもや若い人たちのやりたいことを応援する中で、まちと一体となれることを目指していくのが良いと感じる。＜ぬかが 委員＞
- やりたいことがない人がやりたいことを見つけたり、やり始めたりするための火種となるポイントが重要だと思う。＜小柳 委員＞
- 職住分離の在り方が変わってきている。会社とは別に住んでいるところでコミュニティを作ることが活力につながってくる。  
＜宮本 会長＞
- やりたいと思ったことが応援してもらえると良い。「あやセンターぐるぐる」の取り組みは非常に良く、期待している。＜秋山 委員＞

## 「やりたいことを実現する」を具体化していくことに関する意見

- 他の世代と交流がないと、自分たちの考え方に偏ってってしまう。「やりたいこと」「つながる」を進めるためには多世代の方がつながれるイベントをやっていくと良い。＜秋山 委員＞
- 良いテーマだと思うが、具体化していくためには一工夫が必要だと感じる。＜岡安 委員＞
- 人の力を借りればできる人がいるので、そういう人たちを育てていく。ここに行けば支援してもらえるというネットワークがあると良い。＜片野 委員＞
- 区民には「やりたいことのマグマだまり」がある。そこを活かして活力を上げることは必要。やりたいことにつながれることで、足立区に住んでいることの価値を知ることができる。やりたいことのコミュニティがなければ、行政が参加できる場を作ることによって携わっていく。＜渡辺 委員＞
- 誰一人も取り残さないという支援は引き続き必要だが、同時にやりたいことをサポートしていく施策も必要だと感じる。＜野沢 委員＞
- 一人ひとりに光が当たる良いスローガンだと思うが、一方でなぜ今一人で動き出せない人がいるのか現状分析も必要。原因は様々なところがあり、そこをどう改善していくのかということが具体化につながっていく。＜ぬかが 委員＞
- 足立区は先進的に施設の複合化を進めたなど、足立区の良さを活かしながら進めていくことが大事だと感じる。＜ぬかが 委員＞
- 思いもよらないことに自分の関心が高まることもあるので、区内の活動のカタログ化などが必要。＜小柳 委員＞
- いろいろな方がいて、様々な活動があるが情報が見つけられないため、「見える化」が大事だと感じる。＜渡部 委員＞
- やりたいことに飛びつかない人をどう取り入れていくかが大事ではないか。＜加藤 委員＞
- 区の本気度と費用をかけないと実現できないと考えるので、区の本気度を示す必要がある。＜岡安 委員＞
- 人口構成を見ると、子ども・若者の比率は低いので、多数を占める中年・高齢者もターゲットに考えることも必要ではないか。  
＜宮本 会長＞

## その他の意見

- インスタグラマーなど、「民」で足立区に貢献している人がいるので、後押ししていくのも力になると感じる。＜秋山 委員＞
- 行政のPRだとリアル感がないため、足立区を上手くPRできる若い方を活用していくことで、活気につながっていく。＜山下 友美 委員＞
- チャンレンジングなことをしてほしい。特徴のない無色透明の区になってほしくない。＜秋山 委員＞